

報道機関各位

一般財団法人 とうほう地域総合研究所
理事長 阿部 隆彦

「平成 26 年夏季ボーナス及び暮らし向き」アンケート調査の結果について

当研究所では、毎年「夏季ボーナス及び暮らし向き」アンケート調査（5月調査、6月発表）を実施しています。この度、この調査結果を取りまとめましたのでお知らせいたします。

なお、詳細は当研究所機関誌「福島の進路」7月号(6月26日発行)に掲載するとともに当研究所ホームページでも公表する予定です。

1. 平成 26 年夏季ボーナスアンケート調査結果

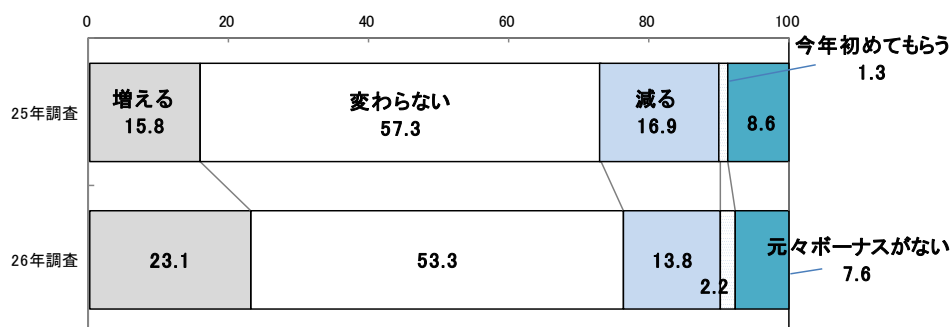
(1) 受取見込額の増減について

「増える」の割合が前年比上昇し、「変わらない」、「減る」の割合が低下した。

◇受取見込み額は「増える」が 23.1%（前年比+7.3 ㊦）、「変わらない」が 53.3%（同▲4.0 ㊦）、「減る」が 13.8%（同▲3.1 ㊦）、「元々ボーナスがない」7.6%（同▲1.0 ㊦）となり、「増える」とする割合が上昇する一方、「減る」とする割合が低下する結果となった（図表1）。

図表1 ボーナス受取見込額の対前年比(全体)

(単位:%)



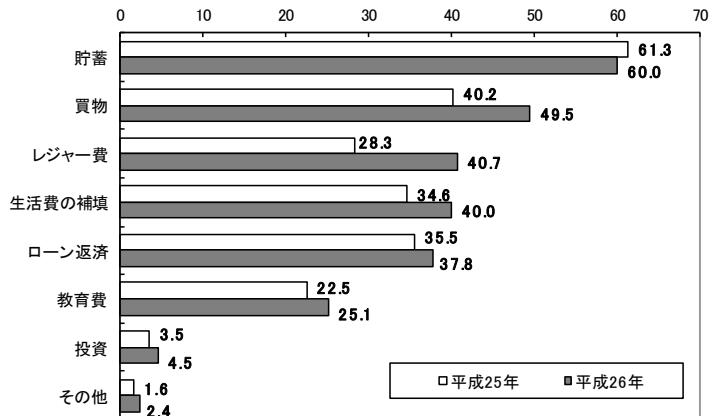
(2) ボーナスの使い道について

「貯蓄」の割合が最も高く約 6 割を占めた。「買物」「レジャー費」と回答した人の割合の上昇幅が大きく、消費意欲の回復がうかがえた。

◇ボーナスの使い道は、「貯蓄」が 60.0%（前年比▲1.3 ㊦）と最も高い割合となった。次いで、「買物」49.5%（同+9.3 ㊦）、「レジャー費」40.7%（同+12.4 ㊦）の順となった。「買物」「レジ

「ボーナス」の割合の上昇幅が大きく、消費に対し前向きな傾向が見られた（図表2）。

図表2 ボーナスの使い道（複数回答）（単位：％）



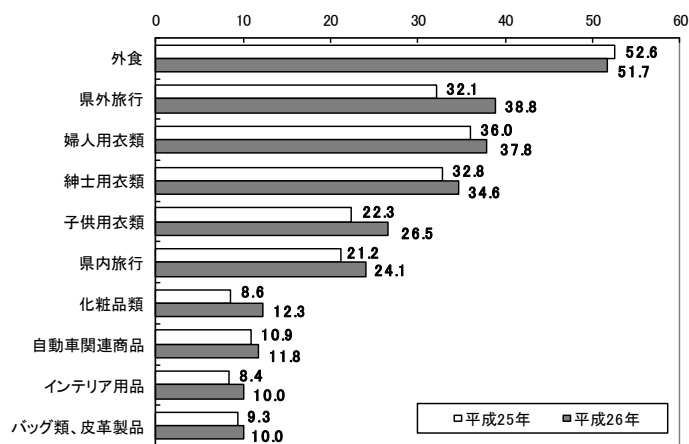
(3) ボーナスの消費支出予定項目について

「外食」、「旅行関連」、「衣類関連」に回答した人の割合が高い結果となった。旅行先の割合では、「県外旅行（国内）」、「海外旅行」が前年比上昇した。

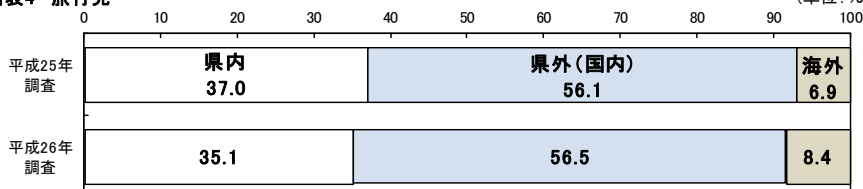
◇ボーナスの消費支出予定項目は、「外食」51.7％（前年比▲0.9 ㊦）が最も高く、次いで「県外旅行」38.8％（同+6.7 ㊦）となっている。衣料品の割合が前年に引き続き高く、3位に「婦人用衣類」37.8％（同+1.8 ㊦）が入った（図表3）。

◇「旅行」に出かけると回答した人の「旅行先」としては、「県外（国内）」が 56.5％（前年比+0.4 ㊦）と最も高く、次いで、「県内」35.1％（同▲1.9 ㊦）、「海外」8.4％（同+1.5 ㊦）となった（図表4）。

図表3 消費予定項目上位10（複数回答）（単位：％）



図表4 旅行先（単位：％）



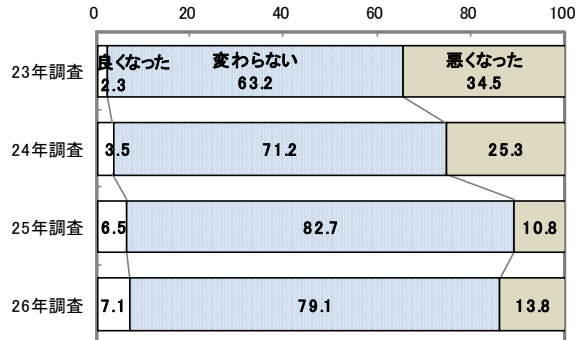
2. 暮らし向きアンケート調査結果

(1) 現在の暮らし向きについて

1年前と比べ「変わらない」とする割合が前年比低下し、「良くなった」「悪くなった」とする割合が双方とも上昇する動きが見られた。

◇現在の暮らし向きについては、暮らし向きが1年前と比べ「良くなった」7.1%（前年比+0.6 ㊦）、「変わらない」79.1%（同▲3.6 ㊦）、「悪くなった」13.8%（同+3.0 ㊦）となった（図表5）。

図表5 現在の暮らし向き (単位:%)



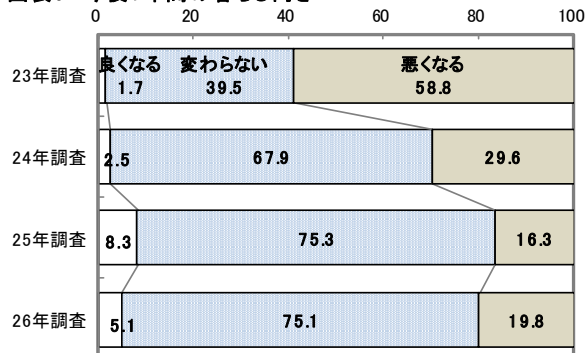
(2) 今後1年間の暮らし向きについて

「良くなる」とする割合が低下、「悪くなる」とする割合が上昇する動きが見られた。

◇今後1年間については、「良くなる」が5.1%（前年比▲3.2 ㊦）、「変わらない」が75.1%（同▲0.2 ㊦）、「悪くなる」が19.8%（同+3.5 ㊦）となった。

今回の調査では「良くなる」が減少、「悪くなる」が増加しており、消費税率引き上げの影響もうかがえる（図表6）。

図表6 今後1年間の暮らし向き (単位:%)

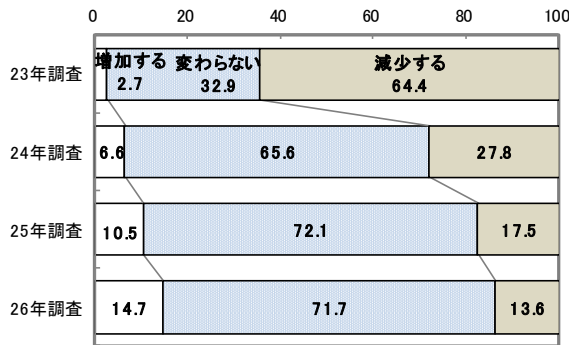


(3) 今後1年間の収入見込みについて

「増加する」とする割合が上昇、「変わらない」、「減少する」とする割合が低下する動きが見られた。

◇今後の収入見込みは、「増加する」が14.7%（前年比+4.2 ㊦）、「変わらない」が71.7%（同▲0.4 ㊦）、「減少する」が13.6%（同▲3.9 ㊦）となり、今後の収入について、増加するという期待感を持つ人が増えていることがうかがえる（図表7）。

図表7 今後1年間の収入見込 (単位:%)



3. 「消費税増税への対応」に関するアンケート調査結果

平成26年4月に消費税率が8%に引き上げられたことを受け、増税が県内の消費者にどのように受け入れられているかアンケート調査を行いました。

(1) 「消費税率引き上げ前の駆け込み購入」について

駆け込み購入をした人は全体の3割を超える。「40歳代」女性の6割以上が「駆け込み購入をした」と回答した。

◇全体

消費税率引き上げ前に「駆け込み購入をした」が31.5%、「駆け込み購入をしていない」が68.5%となり、全体では、駆け込み購入をした人は全体の3割を超える結果となった（図表8）。

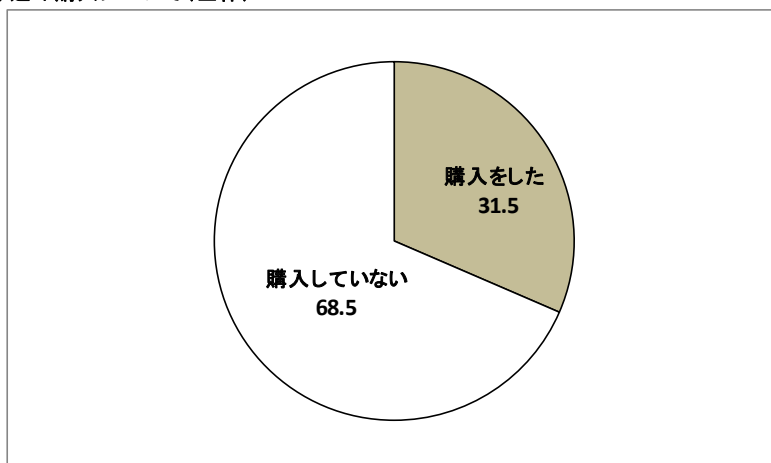
◇男女別、年齢階層別

男女別では、「駆け込み購入をした」と回答した男性が28.0%、女性が39.7%となり、女性が男性を11.7 ㊦上回る結果となった。

年齢階層で見ると、「40歳代」女性の64.3%が「駆け込み購入をした」と回答し、他の年代と比べ高い結果となった（図表9）。

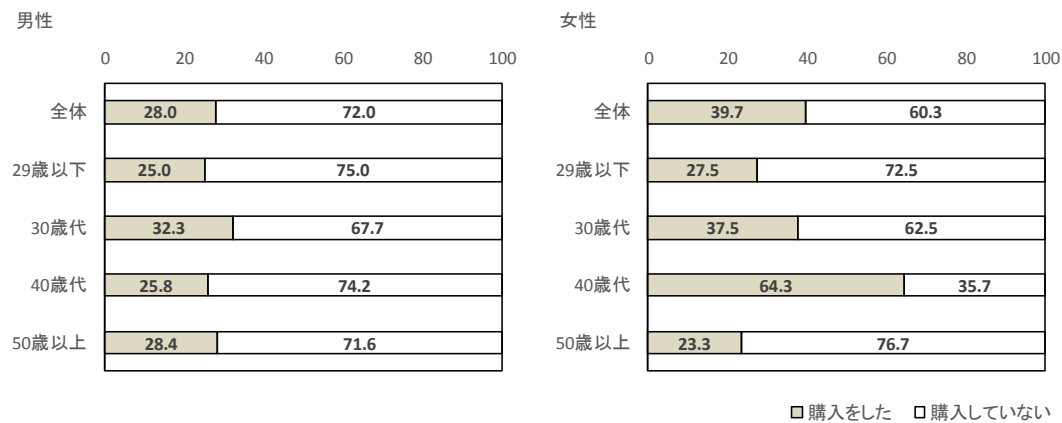
図表8 駆け込み購入について(全体)

(単位:%)



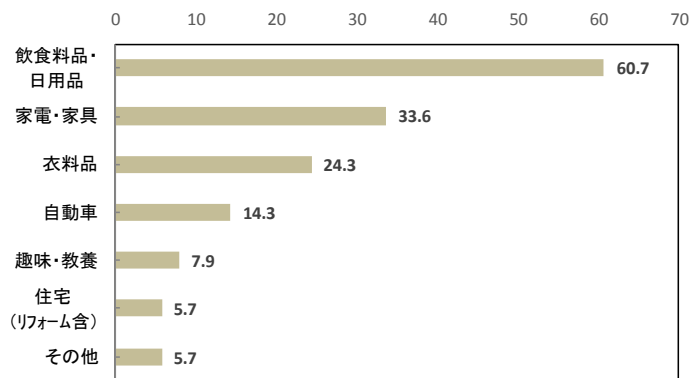
図表9 駆け込み購入について(男女別、年齢階層別)

(単位:%)



図表10 駆け込みで購入した商品・サービス(複数回答)

(単位:%)



(2) 「消費税増税後の消費支出の変化」について

消費税率引き上げ前後で「特に変化がない」とする人が6割を超える結果となった。
男女別では、女性の方が支出を抑える傾向が強いことが見受けられる。

◇全体

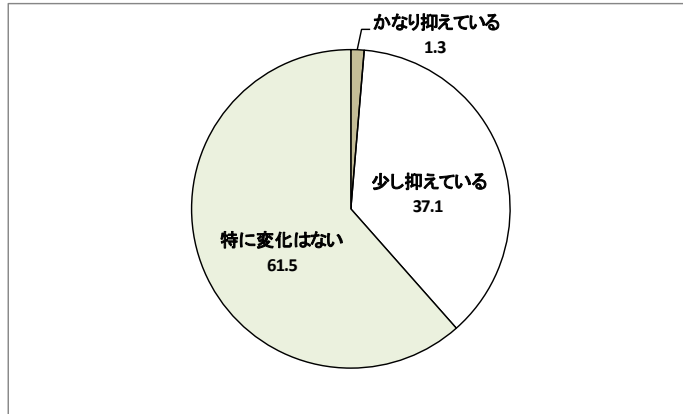
「消費税率引き上げ後の消費支出の変化」について、「かなり抑えている」が1.3%、「少し抑えている」が37.1%、「特に変化はない」が61.5%となった。消費税率引き上げ前後で「特に変化がない」とする人が6割を超える結果となった(図表11)。

◇男女別、年齢階層別

男女別では、消費支出を「かなり抑えている」「少し抑えている」とする割合が女性41.9%と男性36.9%を上回っており、女性の方が支出を抑える傾向が強いことが見受けられる。年齢階層でみると、男性は年代による大きな差異は見受けられないが、女性は「40歳代」および「50歳以上」が他の年代と比べ消費支出を抑えている傾向が見受けられる(図表12)。

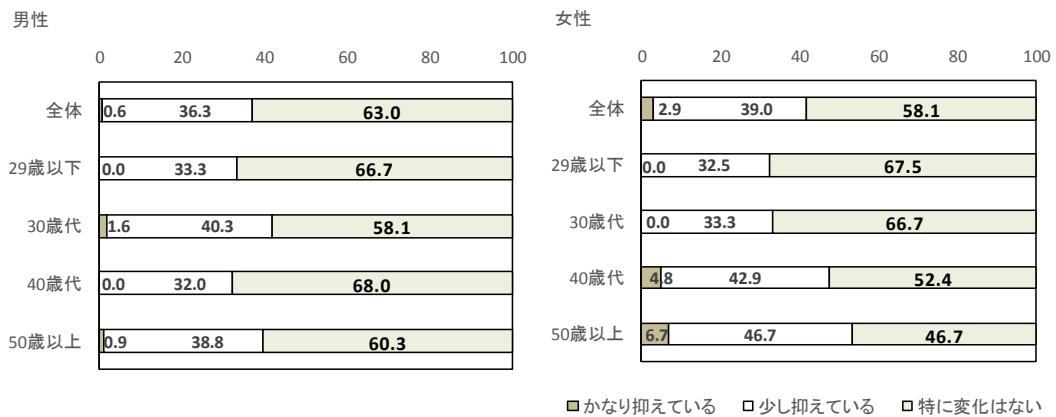
図表11 消費支出の変化(全体)

(単位:%)



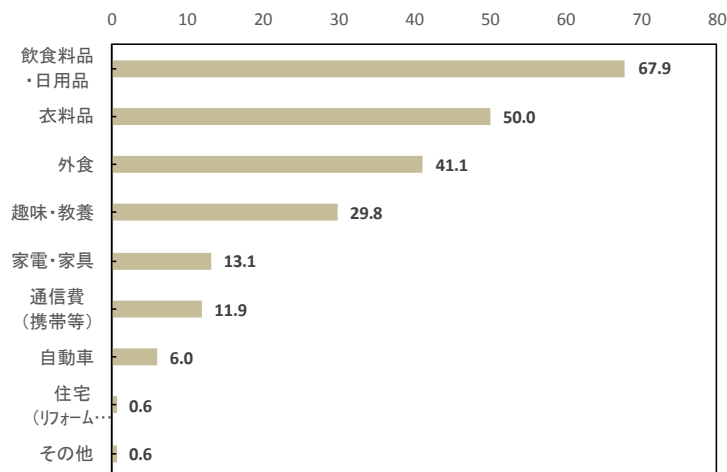
図表12 消費支出の変化(男女別、年齢階層別)

(単位:%)



図表13 消費支出を抑えている商品・サービス(複数回答)

(単位:%)



<ご参考>

<アンケート調査要領>

- (1) 調査場所及び対象者
福島県内の会社員・官公庁職員等 765人
- (2) 調査実施期間 平成26年5月8日～5月23日
- (3) 回答者 450人(回答率:58.8%)
- ① 回答者の性別 男性: 69.6% 女性: 30.4%
 - ② 既婚・未婚別 既婚: 78.9% 未婚: 21.1%
 - ③ 年齢別構成

年齢	29歳以下	30歳代	40歳代	50歳以上	計
構成比	17.1%	19.3%	30.9%	32.7%	100.0%

- (4) アンケート内容
- ① 今年の夏のボーナスについて
 - ② 暮らし向きについて
 - ③ 消費税増税への対応について

本件に関する質問・お問い合わせ先
担当：安藤、木村
TEL 024-523-3171